

にちまが災害支援プロジェクトin能登



× まがたま ×
magatama.net

公益社団法人
石川県栄養士会
Ishikawa Dietetic Association

公益社団法人日本栄養士会 × 一般社団法人まがたま × 公益社団法人石川県栄養士会



にちまが災害支援プロジェクトin能登

令和6年能登半島地震の被災地での栄養と食の支援のために、公益社団法人日本栄養士会と一般社団法人まがたまとが連携し、能登半島での災害支援プロジェクトを発足します。

目的:誰一人取り残さない、被災者の健康と幸せを栄養で支える
～要配慮者に焦点を当てた支援モデル～

経緯:2023年12月から、「公益社団法人日本栄養士会JDA-DAT・大阪府栄養士会JDA-DAT」と「一般社団法人まがたま」が連携し、災害時においてJDA-DAT災害支援車両やまがたまキッチンカーを活用し、被災者(特に要配慮者を中心に)に適切な栄養と食事を提供するための取り組みが進められている。

この取り組みは、被災者一人ひとりに適切なメニューの提案、クックチルシステムを導入し、衛生面・管理面を徹底し、食事の提供、また、ローリングストックを考慮するなど、持続可能な安全・安心な支援体制を目指している。この取り組みが、今回の能登半島地震での支援においてもミッションととらえ、プロジェクトの名のもと、より連携を強めるために立案に至った

効果:このプロジェクトは、通常のキッチンカーを利用した炊き出し支援ではなく、要配慮者(高齢者・乳幼児・妊産婦・障害者等)に対して適切な栄養と食事提供が可能な支援モデルとして展開されます。ボランティアによる支援であるが、行政からの認知度を高め、財政的支援を獲得することで、持続可能な支援体制が確立されることが期待されます。



以下は、このプロジェクトの進行において考慮すべき要点やアクションアイテムである。

1.災害時のメニューの構築とクックチルシステムの整備:

(1)平時から災害時に使用するメニューの構築を進め、クックチルシステムの整備を行うことで、迅速で適切な栄養が確保されます。

(2)衛生面や管理面においても徹底的な対策を講じ、安全かつ衛生的な食事提供を確保します。

2.JDA-DAT災害支援車両とまがたまキッチンカーの活用:

(1)災害時の迅速な展開と効果的な支援のために、JDA-DAT災害支援車両とまがたまキッチンカーを適切に活用します。

3.持続可能性の確保:

(1)プロジェクトの持続可能性を図るため、ローリングストックを考慮し、必要な備蓄や人員のトレーニングを行います。

4.地域連携と行政との協力:

(1)地域のニーズを理解し、地元の行政機関や他の関連団体と協力しながら、支援を展開します。

(2)行政からの認知度を高め、財政的支援を得るために、効果的なコミュニケーション戦略を構築します。

5.ボランティアのトレーニングと認知度向上

(1)プロジェクトに参加するボランティアのトレーニングを行い、要配慮者に対する適切なサービス提供を確保します。

(2)プロジェクトの成果や影響を積極的に広報し、ボランティアの活動に対する認知度を向上させます。

6.評価と改善:

(1)定期的な評価を行い、プロジェクトの効果をモニタリングします。

(2)フィードバックを受け、必要に応じて適切な改善策を実施します。

このように綿密な計画と実行により、プロジェクトは成功裡に被災者へのサポートを提供し、地域全体の健康と幸福を向上させることが期待されます。



日本栄養士会災害支援チーム **JDA-DAT** は、
被災者支援・復興に向けて取り組みます。

Never give up, Noto!

能登、決して諦めないで！

Our hearts are with you, Noto!

私たちの心は、能登と共にあります！

Together we stand, Noto!

一緒に立ち上がろう、能登！

Overcome difficulties, Noto!

困難を乗り越えていこう、能登！



1月29日【月曜日】28日目

一般社団法人MAGATAMA様と日本栄養士会との連携

一般社団法人まがたま
〒540-0004
大阪府中央区玉造1-4-14
[06-7493-8790](tel:06-7493-8790)
info@magatama.net

田中理事長自ら淡路島の
拠点から大阪法人本部を
経由し、金沢の石川総合
スポーツセンターへキッチン
カー搬送



1月29日【月曜日】28日目

一般社団法人 まがたま さんとのコラボレーション
キッチンカーによる要配慮者向けの食事提供の試み

キッチンカーの装備

スチコン・ガスコンロ・冷凍・冷蔵庫・発電機等



キッチンカー
配備予定場所

まがたま

magatama.net

会社名 一般社団法人まがたま（英語表記 MAGATAMA Inc.）

設立 平成31年4月1日

- 事業内容
1. 災害支援事業
 2. 地域コミュニティ支援事業
 3. 農業支援事業
 4. 動物愛護事業
 5. 私設私書箱業
 6. 飲食業および飲食物販売業
 7. 前各号に附帯関連する一切の業務

住所 〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-4-1 4

電話番号 06-7493-8790

メールアドレス info@magatama.net

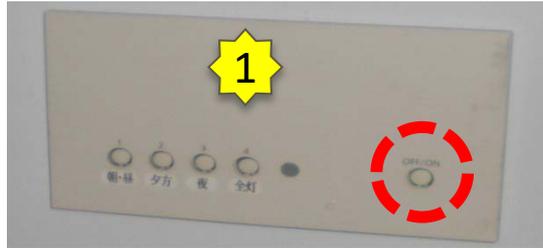
代表者 代表理事 田中慶彦



現在、日本栄養士会JDA-DAT及び大阪府栄養士会JDA-DATでMAGATAMAさんと連携し災害時の被災者の栄養管理の適正化に向けて取組を開始



まがたま災害支援車使用手順



キッチンカーの中に入ったらまず、
電気のスイッチをONにする



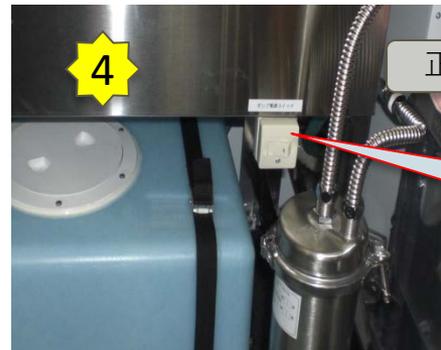
吸気、排気にスイッチを回す



シンクの上
終わったら停止
になっているか



ガスボンベの開閉は基本的
にしない。開けた
ままで良い。ガス管
に平行ならOKです。



水タンクのスイ
ッチ (ONにしない
とスチームが出な
い)



水道の栓は横
になっているか

スチコンの横



階段を引き出す時にはボタンを押しながら、引き出す



4段の階段がセット出来る



スチームコンベクションの開閉は取っ手を引いて横向きに！

注意文

コンベクションを開く時はまず1cm開け中の蒸気を逃がす。やけどの原因になる。



ガスボンベの開閉は基本的にしない。開けたままで良い。ガス管に平行ならOKです。

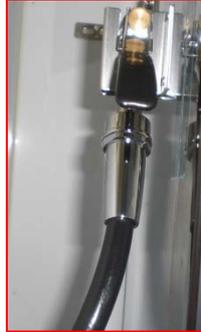


給水はこの口から水を入れる



カギは5本
①車のカギ、②入口のドア、
③電源の扉、④給水の扉

スチコンの使用法



スチムが出なくなった場合 の対策

- ①スチコンの横についているシャワーの水が出なければスチコンは作動しない。
- ②外の給水口より水を20L以上入れると作動する。

※冬場は、凍結防止のためタンクの水を少量ずつ流している。その為、水の減りがあり、2日に一度は15L位の水の補給が必要となる



スイッチを入れる

スチムを選択

時間の選択

温度を選択
90°C

廻して時間&温度の選択
ボタンを押したら決定

スタートとストップの
スイッチを押す

公益社団法人日本栄養士会 × 一般社団法人まがたま × 公益社団法人石川県栄養士会



にちまが
災害支援
プロジェクト
in 能登



本格始動に
向けて準備
体制が整う

